

ぼくせい

令和2年度 富士市立吉永第一小学校
—学校教育目標— 3月号
「あかるく やさしく たくましく」

1年間ありがとうございました

校長 太田 和哉

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、これまでと違った学校生活を送ることとなりました。卒業証書授与式は、今年度も感染のリスクを減らすため、時間短縮、参加者の制限等での挙行となります。本来であれば、多くの来賓の皆様にご臨席を賜るところですが、何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。このような状況の中ですが、子供たちは新年度に向け、コロナ禍で学んできたことを生かしながら、しっかりと前を向き、確かな歩みを進めてくれることと思います。来年度も変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



情けは人のためならず 2月の朝礼（校内放送）より

さて、今日のお話は、『情けは、人のためならず』という諺（ことわざ）のお話です。この諺の意味を知っている人はいますか？ では、聞いたことはありますか？

「情け」とは、人に親切にしたり、優しくしたりすることです。「ならず」なので、「ならない」ということですね。「困っている人を助けると、その人のためにはならない。自分で何とか考えさせた方がその人のためになる。」と、とれますね。

でも実は、「情けを掛ける」ということは、「人のためではなく、自分のためだよ」ということです。どういうことかという、たとえば、困っている人に優しくしてあげる。そうすると、困っていたときに優しくされた人は、自分の経験から困っている人を見ると、助けたくなるんですね。それが回り回って、いつの日にか、自分が困っているときに、誰かに助けってもらえるってことです。

逆に、友達にいやなことをしてしまったり、言ってしまったりと回り回って、自分の身にいやなことが起こるかもしれませんね。困っている人に優しくしたり、いい言葉掛けをすると、いいことがありますね。



重点目標、覚えていますか？ 「かわすあいさつ やさしいことば」でしたね。挨拶もそうですね。笑顔でさわやかな挨拶をされるとなんだかうれしくなります。それが回り回って、学級や学校が温かな雰囲気になります。地域で挨拶し合うと、より一層、笑顔が増えそうですね。「情けは、人のためならず」覚えておいてください。

※この諺について調べていくと、続きがあり、さらに深い意味があることが分かりました。続きは、子供たちの好奇心に任せたいと思います。

令和2年度 重点目標 **かわすあいさつ やさしいことば**

